

11月1日(月)

グループに分かれての実習

報告：横川 哲朗 (Aグループ)

ハワイの朝は早く、4:45に起床した。時差のせいか目覚めはすっきりしている。みんなで集合して、タクシーでアラモアナホテルを出発した。Kuakini Medical Centerに到着し、マチ教授と合流。Bコースと別れ、6:00からの外科回診に参加させていただいた。

チーフレジデントのケリー・ナガサワを中心とした一般外科の回診である。ちなみに回診メンバーである他のレジデントと医学生は、4時に病院に来てすでに患者様の状態を把握しているらしい。ケリーは今日がKuakiniの初日らしく緊張気味である。回診では日系人が多く、中には日本語しか話せない方もいらっしまった。しかしアメリカ人同士の会話はよく聞き取れず、回診中も学生やレジデントがプレゼンテーションをするのだが、患者様一人ひとりの状態を聞き取ることができなかった。

回診の次は手術である。時間は早く、7:30から手術が始まる。1例目はDr. オオイシによる腹腔鏡下の胆嚢切除術である。シングルポートの手術であり、僕にとっては初めて見る手術であった。英語での自己紹介など最初はして、なんとか会話できていたのだが、Dr. オオイシの「シングルポートの手術は日本



でもしているのか？」の問いを、「シングルポールと日本のどっち出身なんだ？」と聞き間違えてしまい、「I'm from Japan」と答えてしまったため、そのあと話しかけてもらえなくなった。英語の壁は大きい。2例目は10:00から胆嚢腫瘍に対する腹腔鏡下胆嚢切除からの、悪性が疑われるため術式変更で開腹手術となった症例であった。途中、マチ教授

【外科カンファ室】

が登場し、術中超音波で肝臓浸潤が疑われる部位を的確に診断し、肝部分切除を行っていた。マチ教授はアメリカでの術中超音波の先駆けの一人らしい。

14:00 昼食をAグループの4人+大谷先生と一緒にカフェテリアで頂いた。僕はごはんとサラダを選んだ。日本人向けの味ではなかった。

その後再び手術室へ。またもDr. オオイシによる腹腔鏡の手術である。今度は右半結腸切除術である。日本とあまり変わらない光景。午前中の手術はハワイ大の医学生がいたのだが、この時間頃になると帰宅するみたいである。朝4時

に病院に来ているのだから仕方ないか。17：30 に終了し、僕らは手術室を後にした。

Kuakini Medical Center の入り口に行くと B グループと偶然出会った。彼らも朝からこの時間まで実習していたらしい。タクシーを呼ぶがなかなか来ず、やっとのことで病院を出発し、ホテルに 19：00 頃到着。

夕食はアラモアナホテルのパイナップルハウスでロコモコのコースを頂きました。

疲れ果て 22：00 就寝。